

平成 18 年度の決算見込みを家庭の家計簿に例えると。

いしかわ家の家計簿

支 出	収 入
生活費 160 万円 (県の職員、学校の先生、警察官などの給料)	給料 392 万円 (県税、地方交付税、国からの補助金など)
家の増改築費 127 万円 (道路、公園整備などのハード事業に要する経費)	その他収入 55 万円 (使用料及び手数料など)
教育費 139 万円 (教育、福祉などのソフト事業に要する経費)	預貯金の引出 4 万円 (基金の取り崩しなど)
ローン返済 91 万円 (県債の返済 うち59万円が地方交付税などにより補てんされました。)	ローン借入 72 万円 (県債の発行 うち42万円が地方交付税などにより補てんされます。)
合計 517 万円	合計 523 万円
翌年度の支出 5 万円	
再計 522 万円	

前ページの平成 18 年度一般会計決算見込みを、わかりやすく、より身近なものとしていただくために、10 万分の 1 の金額 (例えば 5,230 億円 523 万円) にして家庭の家計簿に例えて作成してみました。

この結果、平成 18 年度のいしかわ家は年収 523 万円に対して、支出額が 517 万円になる見込みです。年収から支出を引くと 6 万円の黒字となりますが、そのうち、翌年度の支出にまわす金額を除くと、実際は 1 万円の黒字になる見込みです。

なお、ローンの借入と返済はほぼ同額ですが、預貯金の引出 4 万円を含めて、1 万円の黒字であることに留意する必要があります。

これからも健全な家計維持に努め、家族の夢の実現に向け取り組んでいきます。

## 県民参加型ミニ公募債を発行しました!!

さる3月30日に県民参加型ミニ公募債「第5回ふるさといしかわ債」を発行しました。

「ふるさといしかわ債」は、県債がどのような事業の財源に使われているかを明確にした上で、県民の皆様ご購入いただくことにより、県政への関心を高め、積極的な参加を促すとともに資金調達の多様化を図ることを目的としています。

第5回は、前回同様県立学校の校舎新築などの整備及び、交流人口の増加など大きな経済効果が期待される北陸新幹線の整備を対象として20億円（1口10万円で1人10口まで）を発行しました。

今後も発行していく予定ですので、その際には「ふるさといしかわ債」の購入を通じて郷土いしかわのふるさとづくりに積極的にご参加ください。

